

株 主 の 皆 様 へ



第105期 中間報告書

2019年1月1日 ▶ 2019年6月30日

JUKI 株式会社

証券コード：6440

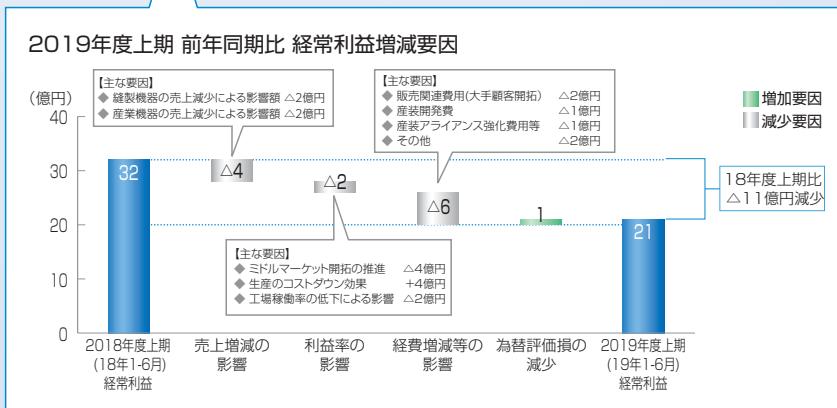
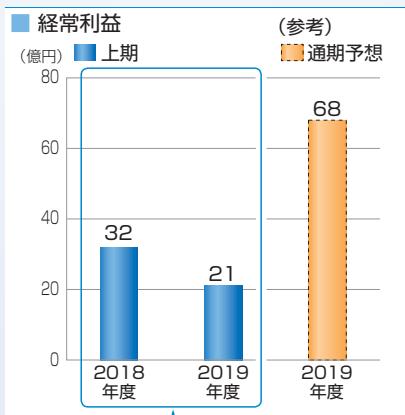
業績のポイント

売上高 519億円 (前年同期比 13億円の減少)

経常利益 21億円 (前年同期比 10億円の減少)

当期純利益 14億円 (前年同期比 5億円の減少)

売上高は、ソリューション営業活動の推進や、アジア市場を中心としたミドルマーケットでの顧客開拓を進める一方で、米中貿易摩擦の長期化、中国における景気減速などの事業環境の変化により、中国、欧州での売上が減少したことから、前年比△2.5%の減収。利益面は、コストダウン等による利益率改善を進めたものの、売上減少影響やミドルマーケットの開拓推進、先端開発費の増加などにより、営業利益は前年比△28.9%、経常利益は前年比△33.7%の減益。



株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第105期中間報告書(2019年1月1日から2019年6月30日まで)のお届けにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当期においては、お客様の省力化・省人化ニーズに合った製品・サービスの提供や工場全体の生産効率を高めるスマートファクトリー等を提案するソリューション営業活動を推進するとともに、アジア市場を中心としたミドルマーケット開拓等による将来に亘る磐石な顧客基盤の構築や、グループ事業等将来を見据えたビジネスカテゴリーの創出に取り組んでまいりました。

このような状況の中、米中貿易摩擦の長期化、中国における景気減速や英国のEU離脱問題等、世界経済が不安定さを増し、中国、欧州での売上が減少したことから、売上高は518億8千5百万円となりました。

利益面につきましては、コストダウン等による利益率の改善を図る一方、売上減少や工場稼働率低下の影響、ミドルマーケット開拓の推進、先端開発費の増加等により、営業利益は25億9千5百万円、経常利益は21億7百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億3千6百万円となりました。

2019年12月期通期の連結業績予想につきましては、米中貿易摩擦などにより当面の為替動向や新興国での事業環境が不透明であることから、前回公表値(2月12日)から変更していません。

また、期末配当の予想につきましては、前回公表値の1株につき30円を修正していません。

世界経済が不安定さを増す中、一方で技術革新の動きがますます加速しており、当社は、デジタル化、システム化を活用したお客様のスマートカンパニーやスマートファクトリーへの積極的な投資ニーズを的確にとらえ、オープンイノベーションを活用し「ものづくり」から「ことづくり」企業への転換等を通してさらなる事業領域の拡大に取り組み、現中期経営計画のビジョンである「お客様に選ばれる高品質な製品・サービスを提供しつづける企業」の着実な実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役

清原 晃

2019年上期(1-6月)実績総括

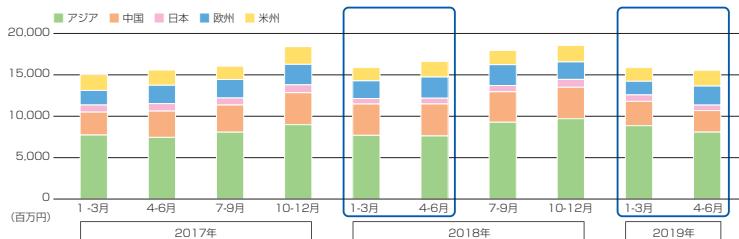
縫製機器&システム事業（工業用ミシン・家庭用ミシン）

市場別では、アジアにおけるミドルマーケットでの売上が堅調に推移する一方で、中国、欧州での売上が減少したことから、縫製機器&システム事業全体の売上高は341億9百万円(対前年同期比1.9%減)となりました。

● 工業用ミシン製品の売上高:前年同期比較(単位:億円)

	2018年 (1-6月)	2019年 (1-6月)	増減額
中国	76	55	△ 21
アジア	153	169	16
中国+アジア	229	224	△ 5
日本	14	15	1
欧州	47	39	△ 8
米州	35	36	1
合計	325	314	△ 11

○ 工業用ミシン製品の地域別売上高推移



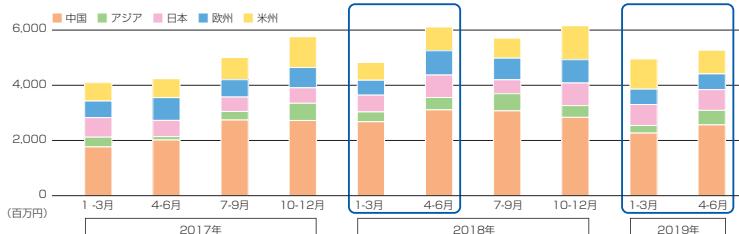
産業機器&システム事業（産業装置、グループ事業、カスタマービジネス）

産業装置では、米国での売上が堅調に推移し、機種別では新型マウンタやスマートファクトリー提案で展開する省力化装置等の売上が増加しましたが、一方で中国、欧州での売上が減少し、産業機器&システム事業全体の売上高は176億5千4百万円(対前年同期比3.6%減)となりました。

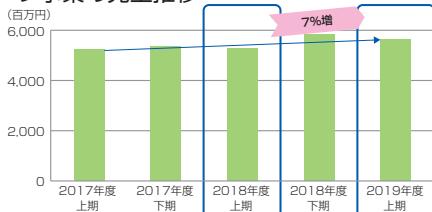
● 産業装置の売上高:前年同期比較(単位:億円)

	2018年 (1-6月)	2019年 (1-6月)	増減額
中国	58	48	△ 10
アジア	8	8	0
中国+アジア	66	56	△ 10
日本	14	15	1
欧州	14	11	△ 3
米州	15	20	5
合計	109	102	△ 7

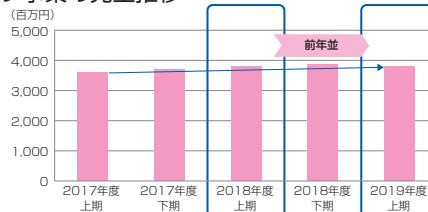
○ 産業装置の地域別売上高推移(含むパーツ・サービス)



● グループ事業の売上推移



● パーツ事業の売上推移



1. 2019年度通期業績予想

	(億円)		【参考】 (億円)	
	2019年 通期 (1-12月)	2019年 上期 (1-6月)	2018年 通期 (1-12月)	2018年 上期 (1-6月)
	予想 (A)	実績 (B)	実績	実績
売上高	1,140	519	1,120	532
(縫製機器&システム)	(750)	(341)	(736)	(348)
(産業機器&システム)	(390)	(177)	(382)	(183)
営業利益	73	26	91	37
経常利益	68	21	83	32
当期純利益	50	14	66	19
配当	通期：30円/株		通期：30円/株	
為替レート	1ドル=105円	1ドル=110円	1ドル=111円	1ドル=109円

2. 環境認識

事業環境

- **世界経済は、不安定さを増し減速の懸念**
・米中貿易摩擦、地政学的リスク、円高リスク
- **異業種・他業態との競争の激化**
・中国ミシンメーカーの成長、自動化に向けた異業種参入
- **技術革新(「モノ」から「コト」へ)の動きが加速**
・AI、ロボット、IoT等への関心拡大

顧客ニーズ

- **スマートカンパニー・ファクトリーへ積極投資**
・デジタル化、システム化、自動化ソリューションの導入

企業への要請

- **先進的な経営体制の構築**
・働き手不足・働き方改革への対応、生産性向上、ESG対応
- **利益重視の経営**
・毎年の増収増益、配当の安定化、自己資本の拡充

1. 中期経営計画のビジョンと5つの基本方針

ビジョン

お客様に選ばれる高品質な製品・サービスを提供しつづける企業
 ～世界中のお客様へ「感動と安心」をお届けしよう!!～
 “モノづくり”から“コトづくり”企業への転換

基本方針

事業戦略	① ソリューション営業での価値創造力の強化 ～先端開発強化、オープンイノベーション活用、プラント営業の展開
	② 市場開拓による将来の顧客基盤構築
	③ 将来を見据えたビジネスカテゴリーの創出と強化 ～グループ事業、サービスソリューション事業、非実装市場開拓
体制戦略	④ ビジョンを実現するグローバルでイノベティブ（革新的）な人材の育成と活用
	⑤ スマートな事業基盤の構築（プロセスのSmart & Connected化） ～SCM見直し、製品原価低減、働き方改革、戦略的環境投資実施

2. アライアンスとボーダレス営業への取り組み

●アライアンス戦略

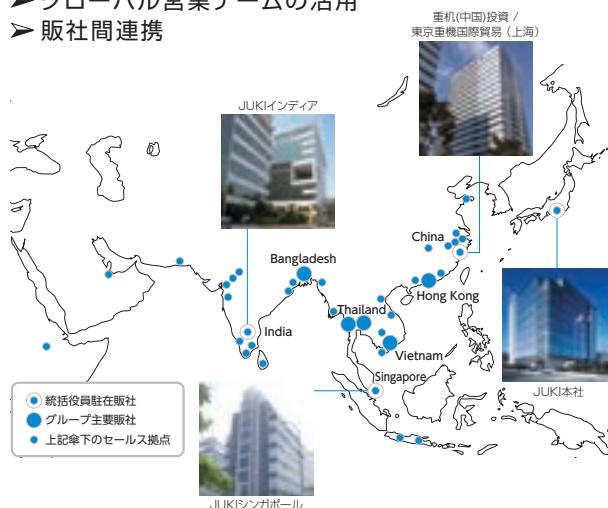
お客様のソリューション多様化への対応として、オープンイノベーション(アライアンスの活用)により事業領域の拡大を進める



●ボーダレス化戦略

お客様の産地移転、仕事移転への対応として、本社、中国、アジア、アフリカへのボーダレス営業を進める

- グローバル営業チームの活用
- 販社間連携

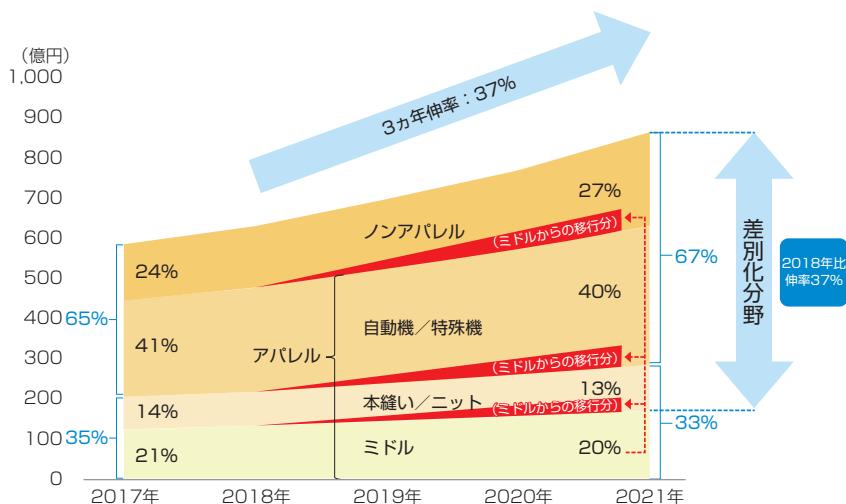


2019年度下期重点施策(縫製機器&システム事業：工業用ミシン)

1. 工業用ミシンの重点施策

ビジョン	JUKI Smart Solutionsのもと、革新的技術とシステム提案によりお客様のイノベーションに貢献
基本方針	ミドル顧客の開拓とハイエンドへの移行による将来の顧客基盤を構築 ①ミドル攻略 ②プラント提案営業 ③アライアンスの活用
重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・成長するミドルユーザーとの取引拡大 ・大手顧客との関係強化と中長期的な投資ビジネスの獲得 ・ノンアパレル分野の更なる強化 ・アライアンス活用による事業領域の拡大

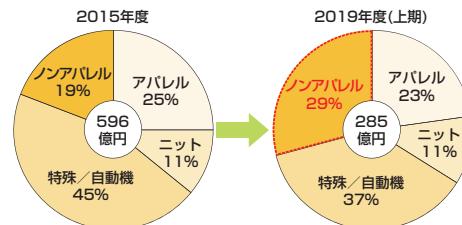
2. 工業用ミシンの事業領域拡大



※グラフ中 実績・計画共、社内計画レート
※パーツ/サービス除く

アパレルからノンアパレル領域への事業領域の拡大が進む

- 自動車、スポーツシューズ、靴等の需要増への対応強化
- 縫製ラインの生産性向上ニーズへ対応したソリューション営業強化



※グラフ中 実績・計画共、社内計画レート
※パーツ/サービス除く

1. 家庭用ミシンの重点施策

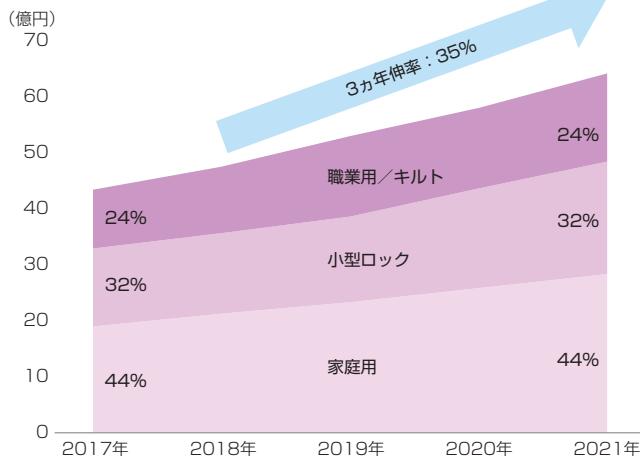
ビジョン 趣味力の高いお客様（Home Sewer）と新たな楽しみの創造

基本方針 強みである 高級家庭用・小型ロック・職業用・キルト を中心に事業を拡大

重点施策

- ・ JUKIの強みを活かした製品展開で、ホビー・クラフトマーケットを攻略
- ・ 市場規模が大きく、かつハイエンド市場のある主要3市場(日米欧)に注力して拡販と利益改善
- ・ マーケティング強化とブランド力の向上
- ・ ニーズ探索、情報発信力強化によるユーザーの囲い込み
- ・ アクセサリーパーツの拡販

【家庭用ミシン】



※グラフ中 実績・計画共、社内計画レポート

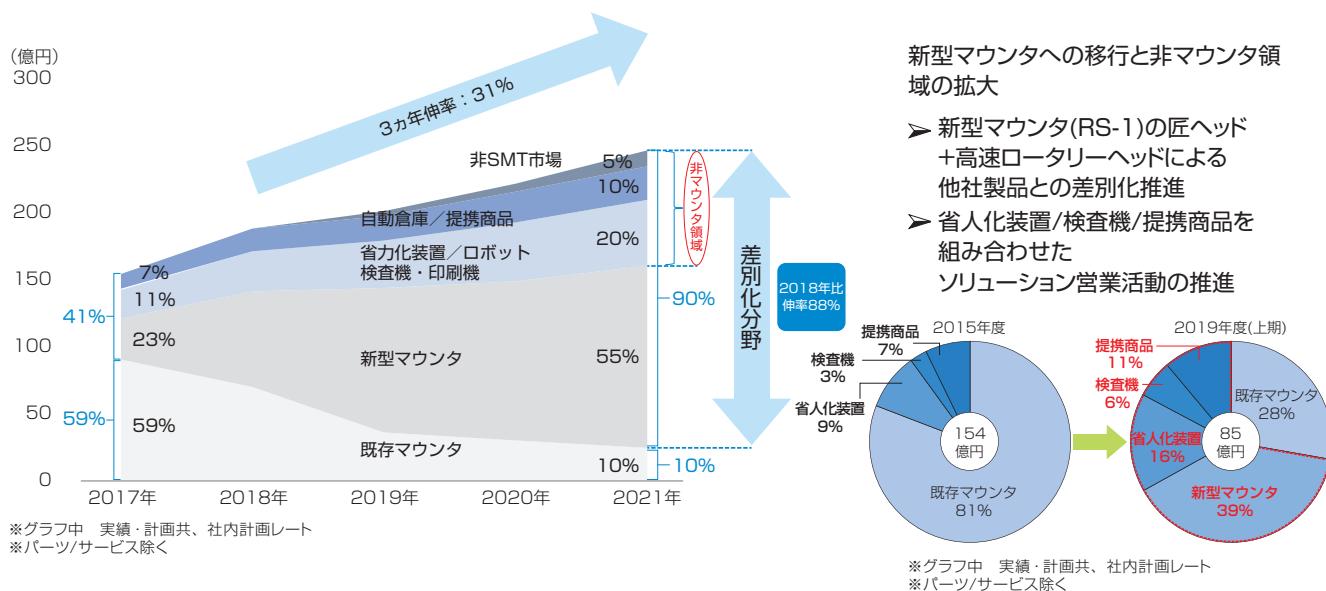
市場の特性にマッチしたラインナップ強化



1. 産業装置の重点施策

ビジョン	得意分野への集中と自動化・省人化ソリューションで、顧客にとってなくてはならない事業パートナーへ JM+ロボット、自動倉庫+周辺機器の拡販
基本方針	非マウンタ領域でのソリューション拡大 とマウンタ領域でのラインソリューション拡充により事業基盤を拡大
重点施策	<ul style="list-style-type: none"> 顧客層別販売戦略・商品戦略の推進 新製品投入による販売拡大および粗利率の改善 ソリューション営業による省力化装置、自動倉庫、提携商品の拡販

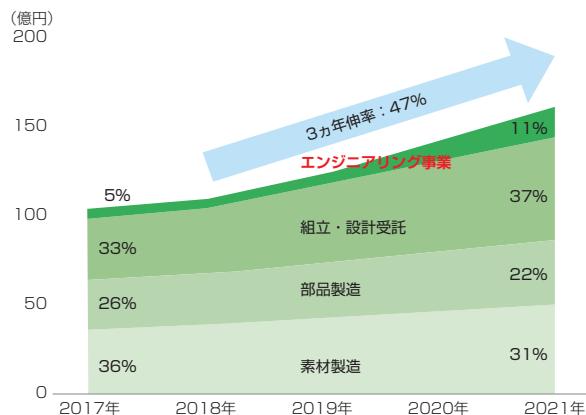
2. 産業装置の事業領域拡大



1. グループ事業の重点施策

ビジョン	JUKIグループの経営資源（製造技術含む）を活かしJUKI第三の柱へ
基本方針	新規顧客開拓と重要顧客の間口拡大 で、第三の柱とすべく売上を拡大 ～2021年に売上目標160億円を達成
重点施策	<ul style="list-style-type: none"> 重要顧客の間口拡大による売上拡大 保有技術活用（本社&各社）による顧客製品、工場設備サポート業務の推進

【グループ事業】



※グラフ中 実績・計画共、社内計画レート

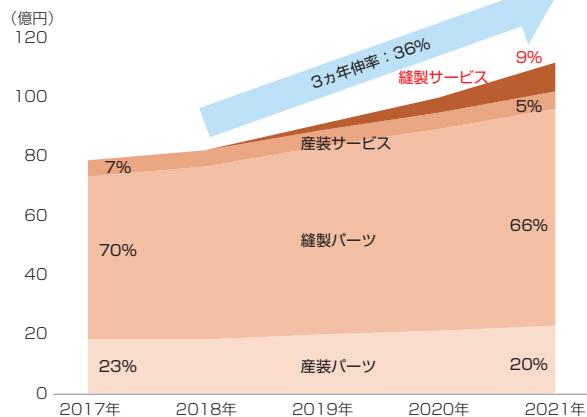
- ★外部のお客様のニーズに対し
- ★グループ連携で受託範囲を拡大することで
- ★お客様の製品と工場設備を対象としたものづくりをサポートする



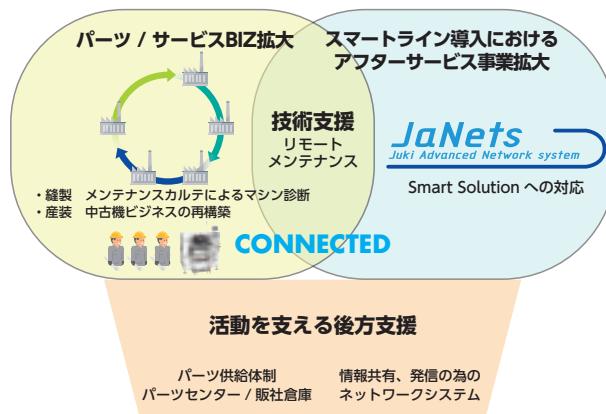
1. カスタマービジネスの重点施策

ビジョン	今日頼んだものが、明日必ず手に入るJUKI部品
基本方針	<u>システムサポート/リモートメンテナンス/設備診断</u> によるパーツ拡販と縫製サービスの事業化
重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・新規商材の拡大 ・縫製事業分野での設備診断によるサービス事業の確立 ・マーケット拡大、商材の拡大、拡販体制の拡充（後方支援）を継続推進 ・中古機ビジネスの再構築

【カスタマービジネス】



※グラフ中 実績・計画共、社内計画レポート



中間連結財務諸表（要旨）

中間連結貸借対照表

(百万円)

科目	前期 2018年12月31日現在	当第2四半期 2019年6月30日現在	増減
資産の部			
流動資産	86,744	85,781	△ 963
固定資産	32,376	32,181	△ 195
資産合計	119,121	117,963	△ 1,158
負債の部			
流動負債	59,266	58,561	△ 705
固定負債	22,613	22,367	△ 246
負債合計	81,880	80,929	△ 951
純資産の部			
株主資本	39,082	39,640	558
その他の包括利益累計額	△ 2,552	△ 3,324	△ 772
非支配株主持分	711	718	7
純資産合計	37,241	37,034	△ 207
負債純資産合計	119,121	117,963	△ 1,158

中間連結損益計算書

(百万円)

科目	前第2四半期 2018年1月1日から 2018年6月30日まで	当第2四半期 2019年1月1日から 2019年6月30日まで	増減
売上高	53,235	51,885	△ 1,350
売上原価	37,177	36,463	△ 714
売上総利益	16,057	15,421	△ 636
販売費及び一般管理費	12,407	12,826	△ 419
営業利益	3,650	2,595	△ 1,055
営業外収益	637	462	△ 175
営業外費用	1,109	949	△ 160
経常利益	3,178	2,107	△ 1,071
特別利益	13	6	△ 7
特別損失	16	6	△ 10
税金等調整前四半期純利益	3,175	2,106	△ 1,069
法人税等	1,177	641	△ 536
四半期純利益	1,998	1,465	△ 533
非支配株主に帰属する 四半期純利益	55	29	△ 26
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,942	1,436	△ 506

会社情報 (2019年6月30日現在)

■ 会社概要

商号	JUKI株式会社
創立	1938年12月15日
資本金	180億4,471万円
本社	東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1
決算期	12月
営業品目	工業用マシン／産業装置／家庭用マシン他
従業員数	5,887名（連結）
連結子会社数	26社

■ 株式の状況

- 発行可能株式総数…………… 80,000,000株
- 発行済株式総数…………… 29,874,179株
- 株主数…………… 10,879名

JUKI 株式会社

〒206-8551 東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1
TEL: 042-357-2211

<https://www.juki.co.jp>

■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,639	8.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,550	5.19
GOVERNMENT OF NORWAY	1,243	4.16
株式会社みずほ銀行	938	3.14
J.P.MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A.	744	2.49

■ 所有者別株式分布状況

